

# 平成25年度 かみがはらの埋文

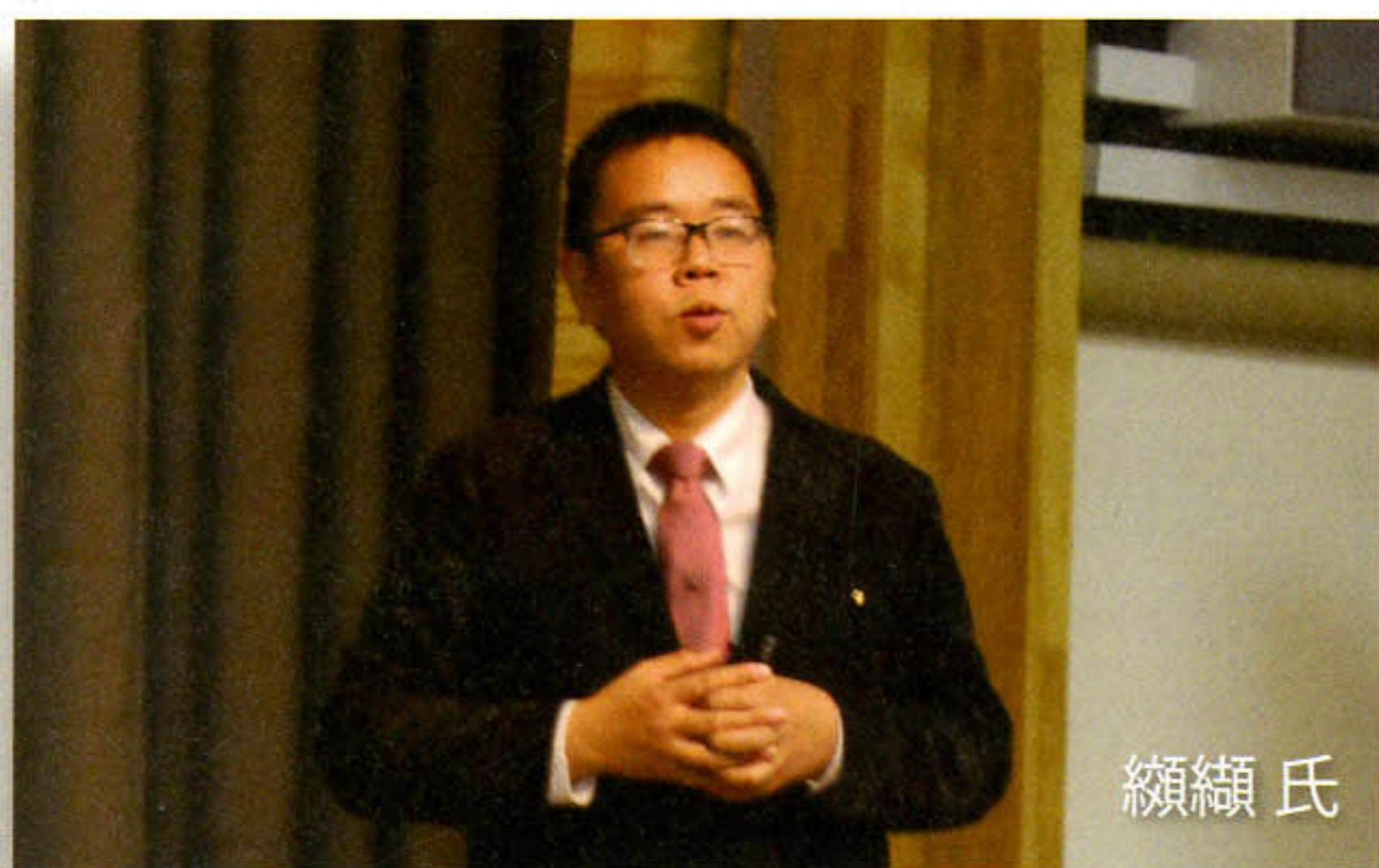
—各務原市市制施行 50 周年記念特別講演会—

## 縄文のまほろば

2013年、各務原市は市制施行50周年を迎えました。この節目の年を記念し、また、これからの未来へ新たな一步を踏み出すにあたって、郷土の歴史を今一度振り返ることを目的とした特別講演会「縄文のまほろば」を開催しました。

講演会は縄文時代の暮らしや遺跡をテーマに、京都大学総合生存学館特定教授の泉氏と名古屋市見晴台考古資料館学芸員の瀬瀬氏を講師にお招きし、縄文時代の気候や食生活に見る暮らしぶり、各務原市の縄文時代を代表する炉畑遺跡についてご講演いただきました。また、ご講演に先立ち、昭和40年代に発掘調査の始まった炉畑遺跡の概要を、センター学芸員より紹介しました。

当日は、市内外から130名と多くの方々にご参加いただきました。講演後、参加者からは「炉畑遺跡の紹介が演題のよい導入になっていました。『西日本縄文社会の転換点』のテーマは炉畑遺跡の考察から離れず、研究の現況と持論も展開され、啓蒙されました」「炉畑遺跡には数回行っており、興味を持っていました。遺跡から出土した土器、石器製品等、すばらしいと思います。大切に保存され、調査の発表に尽力してほしいです」「遺跡の現地見学会を行ってほしい」「縄文土器の細かな特徴も丁寧に説明していただき、勉強になりました」などの声が寄せられました。



各務原市市制施行 50 周年記念

特別講演会 縄文のまほろば

日時 / 平成 25 年 12 月 7 日 (土) 13:00 ~ 16:00  
会場 / 各務原市立中央図書館 4 階 多目的ホール

## 発掘調査出土遺物整理作業

現在、センターでは、昨年度実施した炉畑遺跡C地区発掘調査で出土した遺物の整理作業を行っています。縄文土器の破片はもろく、そのまま扱うには割れやすいため、含浸（破片を薬剤に浸けて強度を高め、割れにくくする）を施したのちに、接合や修復・復元作業を進めます。

破片の数は膨大で、その中から同じ個体の土器を見つけ出すには、大変な時間を要します。現時点では、深鉢形土器や甕などの一部が復元されています。



C地区から出土した破片の一部

破片を薬剤に浸し、割れにくくします。



破片一点一点に、出土した場所などの情報を番号で注記。



同じ個体の破片を集めて、土器などの形になるように接合。

足りない部分は、充填剤を埋めて補修し、形を復元していきます。こうして整理作業を終えた土器などは、センターで展示・公開しています。



## C地区から土偶が出土！

C地区から、土器などの破片に混じって、土偶が出土しました。残念ながら頭の部分は見つかりません。

土偶は、縄文時代の土製品です。主に女性を表したものが多く、そこには神聖で呪術的な要素が含まれていると考えられます。

炉畑遺跡からの土偶の出土は、過去の発掘調査でも数例あります。



C地区出土の土偶



過去の発掘調査で出土した土偶

## 埋文体験講座

### 勾玉づくり・土器づくりなど開講

毎年好評の勾玉づくりでは、市内の小学校や子ども会への出張講座も行いました。多くの参加者が、勾玉の形づくりから最後の仕上げまで全ての作業を紙やすりだけで行うことに驚いた様子でしたが、少しずつ形が出来上がっていくその過程を楽しんでもらえたようです。そして、完成したそれぞれの勾玉の出来栄に、みなさん満足されていました。

9月に開講した土器づくりでは、縄文土器や埴輪などを製作。作品を十分に乾燥させたのち、12月に野焼きを行いました。今年も昨年同様、野焼きで作品が割れることはほとんどなく、土器づくりは概ね成功しました。

そのほか、火おこしや縄文アクセサリづくり、アンギン編みなどの体験講座を、年間を通して実施しました。



勾玉づくり



土器づくり

## バスでめぐる埋蔵文化財探訪ツアー

### 西濃の古墳群から美濃の古代を考える見学会

岐阜県西濃北部には、大規模な古墳群が存在しています。本巣市の船来山古墳群からの出土品を展示した「古墳と柿の館」のほか、池田町「ふるさと史料室」では願成寺西墳之越古墳群について、それぞれの埋蔵文化財担当者から発掘調査の詳細と歴史的な考察をお話いただきました。

また、願成寺西墳之越古墳群と大垣市の昼飯大塚古墳を見学、西濃の古墳時代へと想いを馳せました。



本巣市「古墳と柿の館」



池田町「願成寺西墳之越古墳群」

池田町「ふるさと史料室」



大垣市「昼飯大塚古墳」



## 古代の衣服「貫頭衣」を製作



貫頭衣とは、古代人が着用していたと考えられる、植物の繊維で編んだ布を筒状に合わせた衣服のことです。センターではこの貫頭衣を、古代をイメージしたデザインで製作しました。

サイズも豊富にあり、実際に着ることができます。センターへお越しの際はぜひ試着して、古代人の気分を味わってみてください。

ステンシルで模様をつける作業



模様をつけたら、2枚の布を筒状に縫い合わせます。



## 歴史講座「かかみ野古代史紀行」

今年度で15回目となる「かかみ野古代史紀行」は、『美濃の弥生時代から古墳時代へ－3～4世紀の胎動－』をテーマに、下記の日程で開講しました。

開講日	講師	演題
10月5日(土)	美濃加茂市民ミュージアム 学芸員 藤村 俊氏	古墳時代へ －墓・集落、伊瀬栗地遺跡とその周辺－
10月12日(土)	富加町教育委員会 主査 島田 崇正氏	3世紀の前方後円墳 ～夕田茶臼山古墳の調査成果～
10月19日(土)	海津市歴史民俗資料館 主任 日置 智氏	円満寺山古墳群範囲確認調査成果について



第2回講義のようす

近年、養老地域や加茂野地域において、美濃の古墳時代像に変更を迫る新たな発見が相次いでいます。古墳はいつから造られるのか、墳丘墓と古墳の違いは何かなど、それぞれの地域の担当者より、最新の発掘調査成果を交えてお話しいただきました。

(受講者の感想)

- ・貴重な資料と説明で、知識を得ることができ、有意義な時間を過ごせた。
- ・当時の暮らしを思い描く楽しさがあった。それぞれの古墳へ見学に行きたい。
- ・円満寺山古墳群の今後の調査に期待したい。

## 「各務原文化財カード」を配布中

埋蔵文化財調査センターでは、各務原市の史跡を学習するための一助として「各務原文化財カード」を無料配布しています。これは、市内にある遺跡や古墳を訪れて、現地を撮影した写真をセンターまたは歴史民俗資料館へお持ちいただくと、その史跡の写真や解説の入ったカードを差し上げるというものです。

カードは全部で26種類。各務原の史跡をたずねて、郷土の歴史に触れてみませんか。

①まずは「かかみがはらの遺跡探訪」マップを入手。

②炉畑遺跡など市内の遺跡や古墳へ行き、写真を撮影。(撮影機器は、デジタルカメラ・携帯電話・スマートフォン等なんでもOK)

③撮影した写真を、埋蔵文化財調査センターまたは歴史民俗資料館へ持参し、職員にお見せください。

④撮影した史跡の「各務原文化財カード」を差し上げます！



(表)

(裏)

かかみがはらの遺跡探訪マップ、各務原文化財カードは…

各務原市埋蔵文化財調査センターまたは、  
各務原市歴史民俗資料館（鵜沼西町1丁目116番地3）で配布しています。

2014年は **午** 年



杏葉



陶馬

各務原の遺跡からは、杏葉などの馬具や、まじないに用いたとされる陶馬など、馬にまつわる遺物が出土しています。埋蔵文化財調査センターでは、これらの遺物を常時展示しています。午年の2014年、ぜひ見学にお越しください。

「かかみがはらの埋文」第22号 平成26年3月発行

各務原市埋蔵文化財調査センター

〒504-0914

岐阜県各務原市三井東町4丁目32番地

TEL 058(383)1123 FAX 058(383)8655

(休館日：土日・祝日)

<http://www.city.kakamigahara.lg.jp/maibun>